

船員のために居住環境や労働環境を改善した 「労働環境改善船」が竣工

～「内航未来創造プラン」で掲げる船員不足対策の実現～

鉄道・運輸機構では、平成30年度より「労働環境改善船」の制度を創設し、これまで3隻の共有船建造を進めてきました。そのうちの一隻が完成し、本年1月23日に初の竣工を迎えました。

この制度は、国土交通省が平成29年6月に公表した「内航未来創造プラン」において、船員の安定的・効果的な確保のため、その導入が求められたものであり、今般の竣工は、「内航未来創造プラン」が掲げた課題の一つが実際の船舶として実現したものです。

「労働環境改善船」は、船員の居住環境改善のために、居住区の騒音や振動を抑えるとともに、各部屋に独立した空調機能や船内 LAN・Wi-Fi を備えた船舶です。また、労働負担軽減の観点から、航海データや機関データを効果的に活用する機器(監視カメラ等)を備えています。

これらに加え、従来燃料として使用されていたC重油に代わりA重油専焼とすることにより、機関部の労働負担の軽減及び労働環境の改善を図り、合わせて2020年からの硫黄酸化物(SO_x)の排出規制強化にも対応します。規制適合油の性状等が明確になっていない現時点において、確実な規制対応策とみなされています。

鉄道・運輸機構は、こうした「労働環境改善船」等の共有建造制度を通じて「内航未来創造プラン」の実現に取組み、船員対策や環境対策等の海運政策を推進してまいります。

【竣工船舶の概要】

船名	孝鳳丸(こうおうまる)
共同建造事業者	有限会社寿 SHIPPING
オペレーター	上野トランステック株式会社
船種	ケミカルタンカー
造船所	興亜産業株式会社
竣工日	平成31年1月23日
総トン数	499 G/T
L × B × D	60.00 × 10.00 × 4.50(m)
主機出力	735 kW × 1基 (A重油専焼)

<本件に関するお問合せ先>

鉄道・運輸機構

共有船舶建造支援部 技術企画課

TEL 045-222-9124

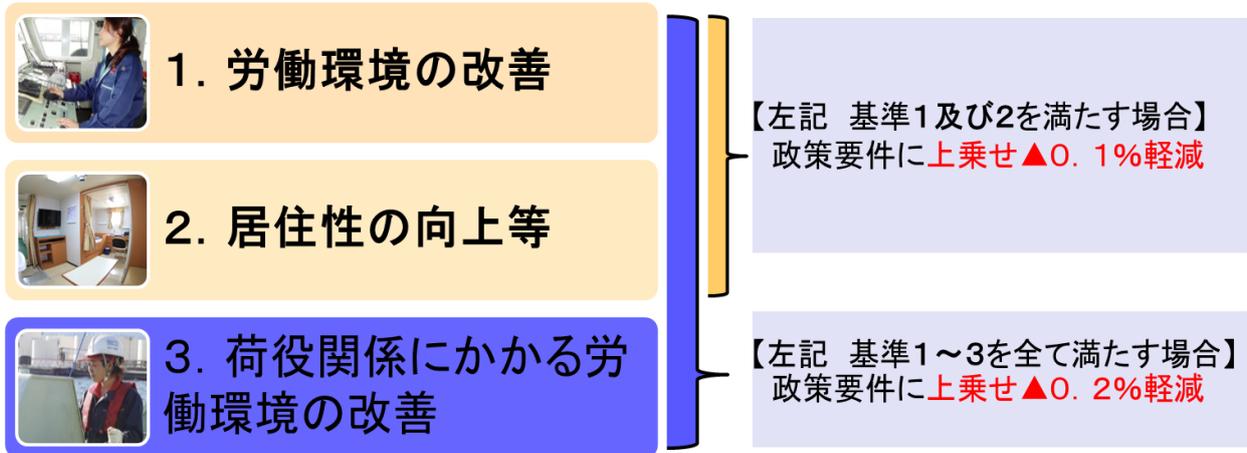
共有船舶建造支援部 建造支援課

TEL 045-222-9139

(参考)

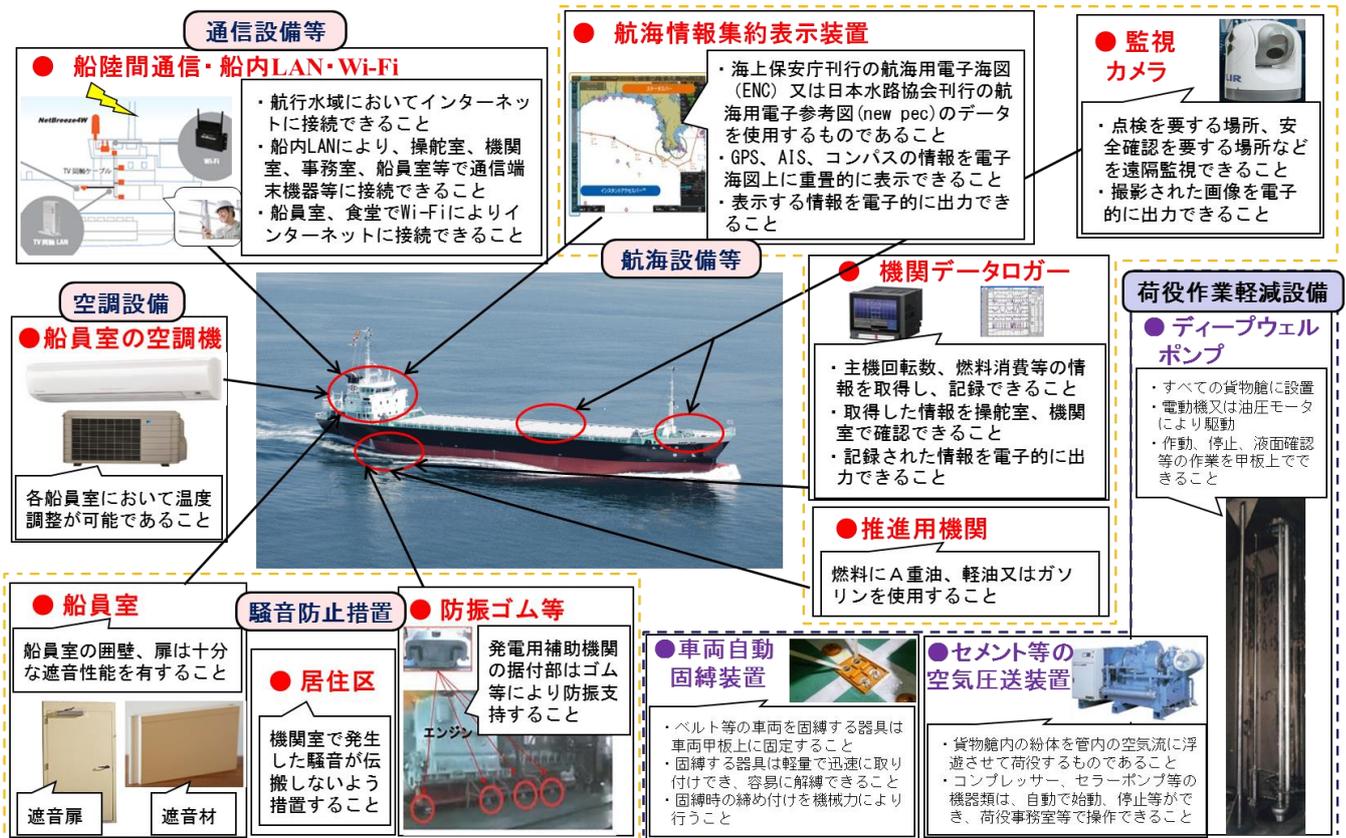
労働環境改善船の設備基準

金利軽減



(上記「3.荷役関係にかかる労働環境の改善」は、必須要件ではありません。)

【労働環境改善船の具体的要件】



(上記「荷役作業軽減設備」は必須要件ではなく、船種に応じて3つの装置から1つを選択するものです。)